

令和5年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

《 開催地挨拶 》



浜田市 久保田 章市 市長

皆さん、こんにちは、島根県浜田市長の久保田でございます。

令和5年度日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会の開会に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

本日は5年度の総会がここ浜田市で開催されますことを心からうれしく思っております。

また、特別会員でいらっしゃいます、国土交通省地方整備局の皆様をはじめ、多くの皆様方に遠路はるばるこの浜田市の方にお越しいただきましたことを心から歓迎申し上げます。本当にありがとうございます。少し浜田市のご紹介をさせていただければと思います。

浜田市は、島根県西部に位置する人口約5万人の市でございます。古くは石見の国の国府が設置されていたとも言われておりまして、また約400年前の1619年でございますが、江戸幕府になって現在の三重県の松阪市の松阪藩から古田重治公がこの浜田の地にお越しになりまして、浜田藩が設置をされました。以来、この浜田という名前の町になったところです。江戸時代には北前船の寄港地として栄えました。中でも外浦の港は日本遺産の構成文化財にもなっている港です。

現在、浜田市には特定第3種漁港の浜田漁港、そして国際貿易港の浜田港がございます。国、県のご支援をしていただきながら施設整備が進められているところでございます。

また、この石見地方には伝統芸能の石見神楽がございます。4年前に日本遺産に認定されたこの石見神楽でございますが、地元では、年間を通じてこの石見神楽が上演されております。

特にこの9月から11月にかけては、ほぼどこかの地で、この石見神楽が上演をされているところがございます。本日はこの場で後ほどの交流会のときに、皆さんの目の前で石見神楽を上演させていただく予定とさせていただきます。

結びになりますが、この日本海にぎわい・交流海道ネットワークを通じまして、今後ともそれぞれの地域がより繁栄していきますとともに、ご臨席の皆様方のそれぞれの団体、行政、あるいは皆様方の益々の御活躍をお祈り申し上げまして、開会の御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。